

## 大学の世界展開力強化事業（平成23年度採択）中間評価結果

大学名	○大阪大学、広島大学、長崎大学、名桜大学
タイプ	A-I I
構想名	「アジア平和=人間の安全保障大学連合」を通じた次世代高品位政策リーダーの育成

### ◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) <b>B</b>	当初目的を達成するには、助言等を考慮し、より一層の改善と努力が必要と判断される。
(コメント)	
<p>「アジア平和=人間の安全保障大学連合」を通じた次世代高品位政策リーダーを育成していくという目的は良いが、その概念規定が漠然としているため、具体的な人材の育成方法の明確化と実施、そしてその評価が遅れており、一層の努力が必要である。</p> <p>ASEAN 諸国の参加大学の事情が多様であるため、共通枠組みづくりの第一歩として4つのグループに分けプログラムの明確化を図ったことは評価できるが、このような事情は申請時から想定できるものであり、かかる取組は当初から計画されていて然るべきものであったと思われる。事業実施期間内の目的達成を目指し、早急な戦略的立て直しが求められる。</p> <p>人間の安全保障においては、フィールド調査やインターンシップが欠かせないとされ、教育方法として中心的な役割を担っているにもかかわらず、これまで実施されていないため、計画を更に進める必要がある。</p> <p>また、質保証を伴った教育プログラムの開発や教材開発の遅れについて、日本の参加大学のモジュールは徐々に明確になっているようであるが、これらをどのように、また、いつまでに全大学で着実に単位化して ASEAN 諸国の大学にも広めていくのか、構想をより明確にし、早急に進めていくことが求められる。</p> <p>大阪大学の事務局において問題点の把握はできているようであるが、事業実施期間内の目的達成のために行わなければならない一連の計画が全般的に遅れている。大阪大学は責任を持ってリーダーシップをとるとともに、他の日本の3大学もより積極的に関与して本プログラムを進めていくことが求められる。</p>	